

【スポーツ振興課】 宮城県長沼ボート場 個別施設計画

策定年月日 R3.2.4

1 対象施設・施設概要					
施設情報					
施設名称	長沼ボート場	所管所属名称	企画部スポーツ振興課		
公共施設等総合管理方針施設分類					
大分類	公共用施設	中分類	スポーツ施設	小分類	単体競技施設
主要建物概要					
構造	鉄骨造	用途	事務所	建築日	1989/11/21
経過年数	34年	耐用年数	38年	目標使用年数	49年
運営方式	指定管理制度	管理者名称	指定管理者	全延床面積(m <sup>2</sup> )	1,573
所在地	登米市迫町北方字天形114-2				
2 計画期間					
令和2年～令和12年(11年間)					
3 点検・診断によって得られた個別施設の状況					
別添「保全点検結果報告書」のとおり					
4 当該施設の必要性					
設置根拠規定等	総合運動場条例		必要性の有無	有	
業務内容	県のボート競技の拠点				
必要性の判断理由	県高校総体や全日本社会人選手権の会場となる県内・国内のボート競技の拠点である。長沼は、2000mコース8レーンを4月～10月の期間常設している。2000mコース8レーンを常設しているのは、国内に長沼を含めて3カ所しかない。流れや波も少なく競技会場として好条件の施設である。				
5 施設ごとの今後の対策					
管理に関する基本的な考え方を踏まえた施設の管理方針	国内でも数少ない、2000m・8レーンをシーズン中に常設するボート競技場である。県高校総体の会場として利用されており、全国規模・東北地区の大会も開催されている。2020年オリンピックにおいて、ポーランド代表の事前合宿地も行われた。棧橋やコースワイヤー設備は、経年劣化するため、周期的に改修工事を行って維持していく。艇庫については、営繕課保全点検や指定管理者による点検報告を受け、適宜補修・修繕を行いながら施設を維持していく。毎年の施設老朽化対策整備計画作成による計画的な施設の維持保全を進めていく。				
施設間・対策間の優先順位の判断内容	中長期保全計画作成対象施設はないので、営繕課の保全点検で指摘を受けた施設を優先に、利用者の安全を確保するための改修を優先に行い、周期的に更新が必要な棧橋やコースワイヤーの更新は計画的に更新して、施設を維持していく。				
6 対策内容、時期及び概算費用					
別添「短期期保全計画表」のとおり					

県有体育施設修繕計画

①工事(P39～P44)【老朽化対策対象】

No.	分類	施設名1	施設名2	工事概要	交換周期・目的等	施工計画	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	実施未定	計 (10年+未定)
							R2 (当初予算)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
136	中長期	長沼ボート場	長沼ボート場	—	—	対象外													0
137																			0
138	短期	長沼ボート場	コースワイヤー	コースワイヤー交換設備工事	15年	①H28施工②R13													0
139	短期	長沼ボート場	コースワイヤー	ステイクボートウインチ等改修工事	15年	①H30施工②R15													0
140																			0
141	短期	長沼ボート場	第1艇庫	第1艇庫屋根修繕	15年	①H29②R14													0
142																			0
143	その他	長沼ボート場	栈橋	(1)木製栈橋修繕	10年	①R2,R12②R3,R13	2,674	4,844									2,674		7,518
144	その他	長沼ボート場	栈橋	白栈橋修繕	15年	①R4施工			1,000										1,000
工事等計							2,674	4,844	1,000	0	0	0	0	0	0	0	2,674	0	8,518